

令和5年度 浦添市 ICT エバンジェリスト実践事例集



浦添市立教育研究所


令和5年度 浦添市ICTエバンジェリスト


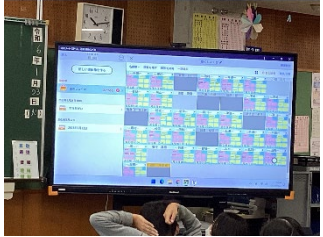
	氏名	所属	概要	ページ
1	島袋 千尋	浦添小学校	外国語活動	P 2
2	城間 優	仲西小学校	特別支援 算数	P 3
3	根間 成美	仲西小学校	学級活動(2)	P 4
4	長濱 辰也	神森小学校	算数	P 5
5	宮城 康彰	浦城小学校	国語	P 6
6	恩川 千亜紀	浦城小学校	道徳	P 7
7	野端 政之	牧港小学校	算数	P 8
8	宮平 さくら	当山小学校	算数	P 9
9	喜舎場 光紀	内間小学校	特支 算数	P 1 0、1 1
10	友利 龍人	港川小学校	体育	P 1 2
11	小禄 直明	港川小学校	社会	P 1 3
12	與那原 朝香	宮城小学校	音楽	P 1 4
13	比嘉 大地	宮城小学校	国語	P 1 5
14	島袋 未寿	沢岬小学校	音楽	P 1 6
15	相澤 航太	前田小学校	国語	P 1 7
16	嘉手納 良照	前田小学校	図画工作	P 1 8
17	玉野 好希枝	前田小学校	学級活動(1)	P 1 9
18	平安山 大賀	浦添中学校	社会	P 2 0
19	岸本 恵一	浦添中学校	数学	P 2 1
20	友利 亘	浦添中学校	社会	P 2 2
21	仲村 幸一	仲西中学校	道徳、社会	P 2 3、2 4
22	謝花 廉	神森中学校	国語	P 2 5
23	崎原 りこ	神森中学校	家庭科	P 2 6
24	根間 誉	港川中学校	道徳	P 2 7
25	美里 真帆	浦西中学校	音楽	P 2 8
26	川上 真紀子	浦西中学校	理科	P 2 9
27	野原 大輝	浦西中学校	社会	P 3 0



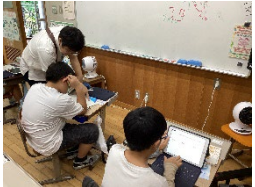
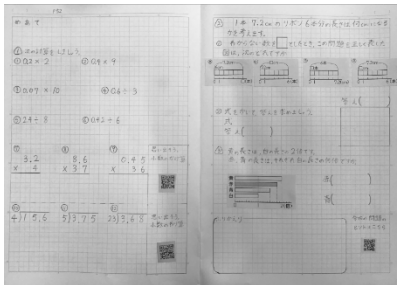
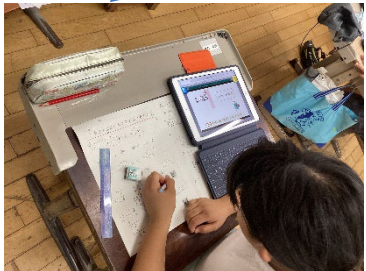
学 校 名	仲西小学校	授 業 者	城間 優
対 象 学 年	2年	教 科 等	算数
単 元 名	「何番目」		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ZOOM) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影机 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルコンテンツ (プログラミング学習サイト「コードスタジオ」) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (PC室児童用 PC 及びプロジェクター、マイク&スピーカーなど)		
本時のめあて	○低学年を対象としたPC室の有効活用と、ICT機器の基本操作やZOOM入室方法体験、プログラミング導入授業を各学年への普及		
ICT機器の活用場面	○児童用iPadをZOOM学級用ミーティングルームへ入室 ○PC室(コンピュータ室)の児童用パソコンを使用し起動やマウス操作を体験 ○プログラミングサイト「コードスタジオ(今回はコースAを利用)」		
指導の流れ	<p>○授業スタートは初めて使うPC室の使用マナーの説明。</p> <p>○【パソコン起動】PC室パソコンの起動の仕方を説明。起動中ZOOMクラス用定期ミーティングルームのQRコードをスクリーンに表示し、カメラなどで読み込ませてiPadで入室させる。</p> <p>○児童のiPadは左、PC室児童用パソコンは右に並べる。【パソコン操作】マウスの説明(持ち方やクリック、右クリック、ドラッグ、ホイールの回し方など)。</p> <p>○【コードスタジオにアクセス】ブックマークバーにあるコードスタジオのアイコンを探して接続。マウスのホイール使い方を説明し、【コースA】を利用する。</p> <p>○★指示画面に集中できるように、児童は頭に手を置いてiPad画面を見るよう指示を出す。マウスのドラッグの仕方について説明。</p> <p>○ブロックをつなげたときに上のブロックをドラッグすると接続したブロックも一緒に動くことを説明する。(★説明は1~2分程度と短く行う。)</p> <p>○スキル2のステージ12まで終えたら、PC室の中央スペースに集まるよう指示してから【児童活動スタート】</p> <p>○制限時間を設け、カウントダウン後に教師からの説明が入ることを伝える。全員をスクリーンが見える場所に集め、ステージ4へ進むことを説明する。★ステージ4からは、ブロックを「実行したとき」に接続させた後、「実行」をクリックしてプログラムをスタートさせるよう説明する。</p> <p>○★ステージ6からは、「くりかえし」のコマンドができるように指導するため、慣れない子には正解を教えて次のステージに進ませてあげても良い。</p> <p>○授業終わりには、パソコンのシャットダウン方法なども説明する。</p>		
指導上の留意点	○PC室児童用パソコンと児童用iPadを並べて活動する。このスタイルは他教科でも非常に効果的であると考える。声が全体に通るよう、マイクを使用する。 ○事前準備としてiOSやZOOMをアップデートしておくことが重要。 ○コロナ時代のZOOM学級用ミーティングルームは前日までに復旧しておく。 ○最初の導入だけスムーズに指示を出すと、後は児童が勝手に自発的にプログラミングに没頭するため、円滑に授業を進めたい。		




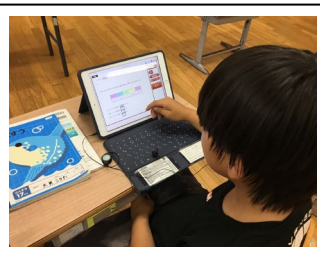

学 校 名	浦添市立 仲西小学校	授 業 者	根間 成美
対 象 学 年	6 年	教 科 等	学級活動（2）
単 元 名	みんなにとって 気持ちのよい タブレットの 使い方って？		
I C T 環 境	■電子黒板 ■iPad（ロイロノート） ■AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
本時のめあて	タブレットを使用することで得られる効果と課題についてこれまでの自分を振り返り、学級みんなにとって気持ちのよいタブレットの使い方について考え、実践することができるようにする。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートをロイロノートで記入して提出 ・見つける場面で考えをロイロノートで共有 ・意思決定したワークシートをロイロノートで作成、提出 ・事後の振り返りをロイロノートで行い、提出 		
指 導 の 流 れ	<p>1. これまでの自分のタブレットの 2. タブレットを使う上での課題に 使い方を振り返る。 について考え、その原因をさぐる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="395 1003 655 1317"> </div> <div data-bbox="655 1037 943 1238"> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをまとめる ・学びの共有、振り返り ・ムービーなどを作成 ・必要な情報を検索する </div> </div> <p>2. 気持ちよくタブレットを使うための解決方法を見つける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="400 1447 756 1711"> </div> <div data-bbox="384 1715 831 1798"> <p>タブレットを見せ合いながらグループでアドバイスし合う</p> </div> <div data-bbox="948 1021 1302 1285"> </div> <div data-bbox="954 1335 1418 1447"> <p>4. 話し合ったことをもとにして、これからのタブレットの使い方について個人目標を決める。</p> </div> <div data-bbox="954 1469 1297 1724"> </div> <div data-bbox="879 1727 1418 1877"> <p>・授業中や休み時間に学習に関係ないものを調べることがあるので「ほんとにいいの？」と考え、関係ない時にはしまっておいて大切にします。</p> </div> </div> <p>5. 本時の振り返りをする。</p>		
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の工夫を聞いたり、相談したりするなどして具体的な方法を考えられるようにする。 ・浦添市の『学習用端末活用ルールについて』を確認する。 		

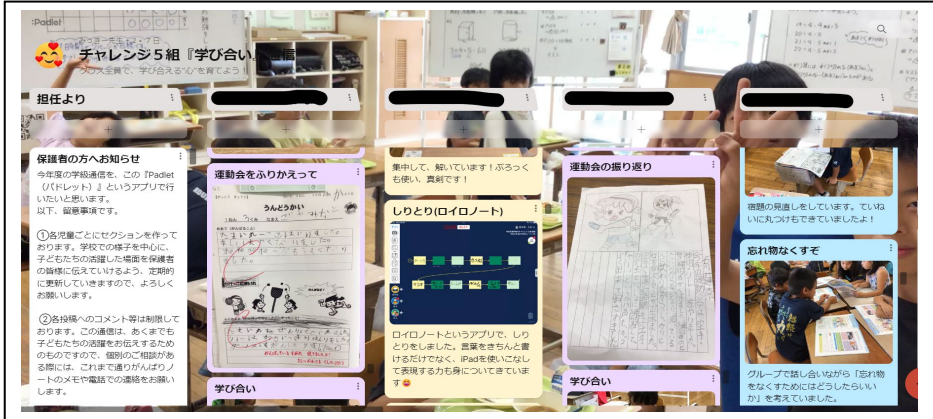
学校名	神森小学校	授業者	長濱 辰也
対象学年	第5学年	教科等	算数
单元名	割合(第7時)		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input type="checkbox"/> iPad(ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV		
本時のめあて	○%引きや○%増しの問題にちょう戦しよう		
ICT機器の活用場面	<p>授業の導入部において、前時の復習を効果的に行うため、ロイロノートのテスト機能を活用している。クイズ形式で行うため、苦手な児童でも解きやすく、どの問題につまずきがあるのか教師も把握できる。</p> <p>授業の展開部では、児童一人一人の考えを提出箱に提出させ、異なる解答を選択・比較する機能を生かして、話し合い学習を行わせた。配信機能を生かして、どの児童も同じ画面を共有することができ、積極的な話し合いができた。</p>		
指導の流れ	<p>導入・・・8分</p> <p>① 前時・既習事項の振り返り・・・ロイロノートのテスト機能の活用</p> <p>② 問題把握・・・ねだんが15000円のデジタルカメラを10%引きで買います。代金は何円ですか。 前時の問題との違いを把握。割合・基準量・比較量を表す言葉の確認 10%引きの「引き」に注目して、めあての確認。</p> <p>展開・・・25分</p> <p>③ 自力解決・・・自力で解決した式と答えをカードに入れてロイロの提出箱に提出</p> <p>④ 比較検討・・・ロイロノートの機能を使って左記の3つの考え方と線分図を1つの画面に集約し、グループで話し合う</p> <p>⑤ 比較検討・・・全体で確認する</p> <p>⑥ 適用問題</p> <p>終末・・・7分</p> <p>⑦ まとめ・・・児童の言葉を生かして、まとめを書く</p> <p>⑧ ふりかえり・・・今日の授業での気づきをロイロノートでまとめ、提出箱に提出させる。</p>		
			
指導上の留意点	<p>○テスト機能は音声が出るので、どうしても音声ありが良い児童はイヤホンを用意するなど、工夫が必要である。(音声を出してしまうとうるさくなる。)</p> <p>○テストを作成する際は、コピー機能を利用して、いくつかの問題の数値を変えると作業効率が向上する。また、シャッフル機能を使うと、問題や選択肢の順番を変えることができる。</p> <p>○話し合い活動の際に画面を集約する機能を使った後、タブレットを閉じると、集約する機能が解除され戻れないことがある。そのため、話し合いをする際には画面を閉じたり、別のアプリを立ち上げたりしないようにすることを事前に伝えておくとよい。</p>		

学 校 名	浦添市立浦城小学校	授 業 者	恩川 千亜紀
対 象 学 年	5 学 年	教 科 等	道 徳
単 元 名	銀のしょく台(相互理解、寛容)		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	しょく台を盗まれた司教が取った行動について考え、司教の気持ちに気づき、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする態度を育てる。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ・電子教科書の読み上げ機能で範読をする。 ・ロイロノートのカードに考えを記入し、提出箱に提出する。 		
指 導 の 流 れ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">導入</div> <p>1. 相手を許すことができた経験について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">展開</div> <p>2. 教材を範読する。</p> <p>3. 発問『司教の「許す」には、どのような思いが込められているのか』 考えをノートに記入する。</p> <p>4. 発問「司教が「許したとき」と「許さなかったとき」で、ジャンの今後はどのように変わると思うか」 ロイロノートのカードに記入し、提出する。</p>  <p>5. 発問に対する自分の考えを発表する。(全体共有)</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">終末</div> <p>6. 振り返り 振り返りの視点を与え、「許す」ことについて付け加えることや本時の気づきについて自己の生き方に関する考えを深める。</p>		
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ○机間指導を通して、手が止まっている児童に適宜助言する。 ○提出箱を活用し、個々の児童の考えを共有できるようにする。 ○iPad を使う際のルール(指示があるまでさわらない等)を守るよう指導を徹底する。 		


学 校 名	牧港小学校	授 業 者	野端政之
対 象 学 年	こすもす2組（特別支援4年）	教 科 等	算数
単 元 名	小数のかけ算・わり算		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input type="checkbox"/> iPad（ ） <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ラインズe-ライブラリ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（教科書QRコード）		
本時のめあて	・小数のかけ算やわり算の練習をしよう。		
ICT機器の活用場面	・教科書のQRコードを利用し、計算の仕方を確認できるようにする。 ・設定した課題を終えた後に、オンラインドリル教材（ラインズ）を用いて、個別の課題に取り組むことができるようにする。		
指導の流れ	導入…5分 1. 本時のめあてを確認する ○これまでの学習を振り返り、問題に取り組む中で自身ができていることと苦手とすることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">個別最適化をねらった解説WebページのQRコード</div>  展開…30分 2. 一斉課題に取り組む ○教科書の練習問題を参考にして作成した、書き込みプリントに取り組む。 ・各児童のつまづきに気を配り、それぞれの課題に対して支援を行う。 ・支援に際して、教科書に記載されている計算手順を説明した動画や、練習問題の解説WebページのQRコード活用を勧める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">説明動画や解説Webページを開いても、どこを覗けばよいのかわからなくなってしまう。→自分で確認できるように活用法の練習が必要。※今回は教師が前で解説して理解が進んだ。</div>  3. 個別の課題に取り組む ○児童それぞれが、自分が取り組みたい追加の課題に取り組む。 ・練習プリント（基本的な問題） ・練習プリント（発展問題） ・ラインズe-ライブラリ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">個別指導を行う傍ら、e-ライブラリに取り組む児童</div>  終末…5分 4. 振り返り 単元全体を通して身に着けたことや頑張ったことを振り返り記述する。		
指導上の留意点	○予定時間内で十分に学習することが望ましいが、児童個々の調子により、課題を全てこなすことが難しい場合は、その児童が取り組める範囲で学習に取り組むことができるよう助言する。 ○一斉課題への取り組みが難しい児童には、個別課題による学習を勧め、学習の保障をする。		
教材	☆使用するノート型プリント  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px;">説明動画を観ながら筆算を行えた。音声が出るとより有効なので、指導書に掲載されている「スマートレクチャー」の活用も</div> 		

学 校 名	浦添市立 当山小学校	授 業 者	宮平さくら
対 象 学 年	第3学年	教 科 等	算数科
単 元 名	三角形		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影机 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	辺の長さに目をつけて、仲間分けをしよう。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の確認(電子黒板でパワーポイントを見せる) ・問題提示(電子黒板で電子教科書をうつす) ・子どもたちによる三角形作り(一人一台端末) ・グループ分け(一人一台端末でロイロノートを活用) ・共有(電子黒板でロイロノートを活用) 		
指導の流れ	<p>【導入】</p> <p>① 身の周りのものから三角形のものを見だし、興味をもたせる</p> <p>② 三角形をつくる (写真を撮り、ロイロノートのテキストに貼り付ける)</p> <div data-bbox="746 1003 1011 1167" data-label="Image"> </div> <p>② めあての確認</p> <p>【展開】</p> <p>③ 三角形のグループ分けを行う</p> <p>(ロイロノートの提出箱に提出させ、個人の端末や電子黒板で共有する) 個人→グループ→全体</p> <div data-bbox="1075 1003 1334 1198" data-label="Image"> </div> <p>④ 共通点をもとに定義づけをする</p> <p>【終末】</p> <p>⑤ まとめをする</p> <p>⑦ 練習問題</p> <p>⑧ ふりかえり</p> <div data-bbox="865 1373 1110 1561" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1133 1379 1358 1561" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="911 1574 1278 1783" data-label="Image"> </div>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形を撮影させる際は、三角形が見えやすくするため、ノートの上で作って撮影するよう指示する。 ・正三角形が作れるよう、同じ長さの棒を3本ずつ配布する。 ・共有の際は、ロイロノートの共有を解除する。 ・児童の活動が入るため、時間配分に気をつける。 		




学 校 名	浦添市立内間小学校	授 業 者	喜舎場 光紀
対 象 学 年	1・3・6年	教 科 等	算数
単 元 名	1年『ひきざん(1)』3年『一万をこえる数』6年『分数÷分数』		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルコンテンツ (『Kahoot!』『eライブラリ』『スマートレクチャー』)		
本時のめあて	1年：ひきざんの れんしゅうを しよう。 3年：大きな数の読み方を知り、説明しよう。 6年：整数、小数、分数が混じったわり算の計算をし、説明しよう。		
ICT機器の活用場面	・導入：既習事項の確認 (3年・Kahoot!) (1年・eライブラリ) ・展開：問題把握 (6年・スマートレクチャー) ・振り返り：テレビで今日の活動の様子を振り返る (全学年・AppleTV)		
指導の流れ	1. 導入 (1) 1年：Kahoot! (たし算の復習) 3年：eライブラリ (予習・復習) 6年：本時の問題とめあての確認。 2. 展開 (1) 1年：課題把握→個人試行 (必要に応じて相談しながら) 3年：課題把握→個人試行 (必要に応じて相談しながら) 6年：個人試行 (必要に応じてスマートレクチャーを使う) ※課題がおわったら、他の友だちのフォローをお願いする。 ※時間が余ったら、個別の学習を自分で選ばせる。 3. 振り返り (1) 教師からのフィードバックを行う (全体) ※『学び合い』『自己学習』の視点を踏まえる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div>Kahoot!(カフト)</div> <div>e-ライブラリ</div> <div>スマートレクチャー</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		
指導上の留意点	・『Kahoot!』『eライブラリ』『スマートレクチャー』はすべてクラウド上のサービスなので、ネット環境により接続に時間がかかる場合がある。 ・学年ごとにICTを使う環境、タイミングが違うので、他学年の学習の妨げにならないよう、場所や音の大きさなどに十分気を付ける。その意識を、教師だけでなく、子ども自身も持てるようにする。		






学校名	浦添市立内間小学校	授業者	喜舎場 光紀
対象学年	全学年	教科等	特になし
内容	ICT を活用した『学級通信』の方法について		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルコンテンツ (『Padlet』)		
本事例の特徴	ICT を活用することにより、保護者へ児童生徒の良い様子を伝える『学級通信』という取り組みをより簡単に、かつ効果的に行うことができる。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の授業、学校生活の様子を iPad で撮影 ・ 学級通信に載せ、保護者と共有 ・ 授業の振り返りや、帰りの会などで子どもたちの良い姿として共有 		
Padlet 学級通信	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者の同意 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に管理職と相談の上、OK が出たら保護者の同意を得ておく。 ・ 留意点として「子どもの様子を SNS 等にアップしないこと」は確認しておく。 ・ QR コードを配布し、いつでも保護者が閲覧できるようにする。 2. Padlet の活用 <p>Padlet (パドレット) は、オンライン上で使える掲示板アプリです。先生個人のアカウントでも、open アカウントでも無料で登録できます。本実践では『ウォール』というフォーマットを使用しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ウォールで掲示板を作成 (2) 一番左枠に、保護者あての連絡を挿入 (3) 児童ごとにセクションをつくり、写真を撮ったら添付 (4) 写真に一言コメントを入れる <p>上記の流れで、ほぼ毎日だれかの学校生活の様子をお伝えしています。</p> 3. 授業・学級経営での活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や学校生活で、全体に共有したい姿があったら写真を撮っておき、その後、全体指導に向けて話す際に「こんなことがあったよ。〇〇さんステキだね」と紹介する。 		
			
活用上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に保護者へ許可を取る必要がある。 ・ 個人情報の取り扱いに注意する。 ・ 本実践では、少人数(特支学級)であるため児童一人ひとりのセクションだが、30人学級の場合は、各月ごとにセクションを作成するなどの工夫が必要。 		

R5 浦添市 ICT エバンジェリスト活用実践事例様式




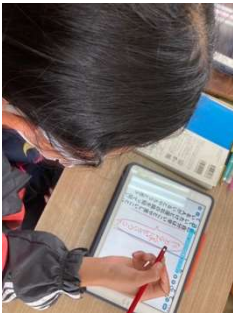


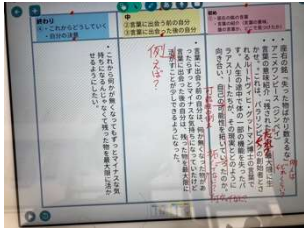
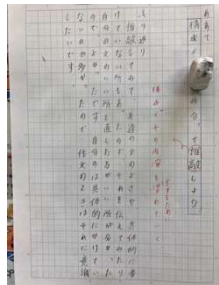
学校名	浦添市立港川小学校	授業者	友利 龍人
対象学年	5 学年	教科等	体育
単元名	ティーボール		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルコンテンツ (NHK for School) <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	ipad を使って、バッティングのポイントを練習しよう。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad を使い NHK for School 「体育ノ介」 を視聴しバッティングのポイントを確認する。 ・ ipad を使いバッティングの動画を撮影し、練習に活用する。 ・ ロイロノートを通して参考資料を配付し、いつでも振り返ることができるようにする。 		
指導の流れ	<p>導入</p> <p>①めあてを確認する。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ipad を使って、バッティングのポイントを練習しよう。</div> <p>②事前に視聴した動画の内容を振り返り押さえるべきポイントを確認する。</p> <p>展開</p> <p>③チームに分かれて練習を行う(コツコツタイム)(5分)</p> <p>④何名かの児童を参考にポイントの再確認を行う(キラリタイム)(5分)</p> <p>⑤ipad を活用した練習を行う(レベルアップタイム)(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練習量が減ってしまわないよう、ポイントを絞って撮影を行うよう促す。 ・ 場の設定や工夫についても視点を与える。 <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>振り返り 分析：できたところは、体重移動、水平にバットを振る、足の位置、バットも上手く置けました。 反省点：目線が少しできていなかった。バットが振り切れてもいなかった。次回は・・・最後まで目を見ることがバットの振り切りができないことがわかりました。そこを改善していきたいです。試合中に練習してみたいです。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div> <p>まとめ</p> <p>⑥今日の学びをまとめ、振り返りをロイロノートで提出する。(10分)</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動量を確保しつつ ipad を十分に活用するために、使用するポイントや視点を明確にするなど手立てが必要。 ・ 屋外での活用になるため、事前に教室で動画視聴を行うなど準備が必要。 		



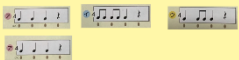
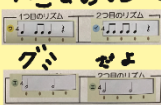

R5 浦添市 ICT エバンジェリスト活用実践事例様式

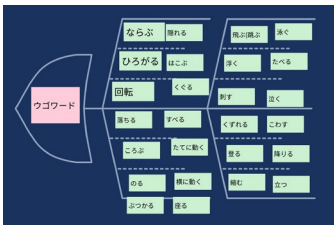
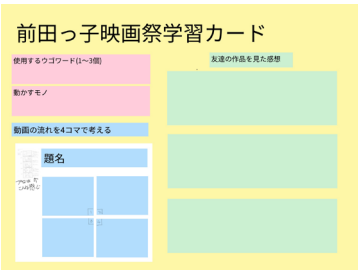
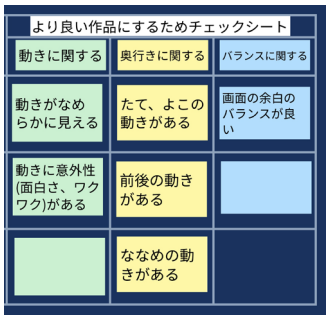
学校名	浦添市立港川小学校	授業者	小禄 直明
対象学年	4 学年	教科等	社会
単元名	みりょくがいっぱい！ 知りたいな、47 都道府県		
ICT 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	地図帳を使って、都道府県の特産物、祭り、観光地を調べよう。		
ICT 機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad を使い担当する都道府県の特産物、祭り、観光地などを調べる。 ・ 調べたものをロイロノートにまとめる。 ・ iPad と電子黒板を使い、ロイロノートにまとめたものを発表する。 		
指導の流れ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">導入</div> <p>①めあてを確認する。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">都道府県の特産物、祭り、観光地を調べよう。</div> <p>②グループを8つに分け北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方のうち、どのグループがどの地方を調べるか決める。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">展開</div> <p>③8グループに分かれて調べ学習を行う。(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPad を使い各地方の各都道府県の特産物、祭り、観光地を調べる。 ・ 調べた物を写真やイラストを使ってロイロノートにまとめる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">まとめ</div> <p>④各グループ調べたことを発表する。(15分)</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰がどの都道府県を調べるかなどグループの一人一人に役割をもたせる。 ・ 調べる時間、ロイロノートにまとめる時間は20分しかないこと全体に周知し、集中した調べ学習を行う。 ・ 各グループの調べ学習がスムーズに行えるように各グループ巡視を細かく行い助言等を行う。 		

学 校 名	浦添市立宮城小学校	授 業 者	與那原朝香
対 象 学 年	2 年	教 科 等	音楽
単 元 名	くりかえしを見つけよう「おまつりの音楽」		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	くりかえしをつかって、お祭りの音楽を作ろう。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの音楽(リズム)を作る際に、ロイロノートのテキストを活用して、リズム譜カードを操作し、繰り返しのある音楽作りを行う。 ・電子黒板をくりかえしを使う際のポイントの確認、全体共有の場に活用。 		
指導の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既習の音符や休符の確認 2. 学習課題と本時のめあてを確認する。 3. 電子黒板にて、教師がモデルを示し、リズム譜カードの操作を知る。 4. リズム譜カードを操作して、音楽作りをする。 5. 友達が作った音楽を見て、実際に太鼓を使ってリズムをたたいてみる。 6. 自分の考えたリズム譜カードを提出箱に提出する。 7. ふりかえり(ロイロノートのテキストに記入)音声入力、ローマ字キーボード入力、ひらがなキーボード入力など自由を選択。 		
			
	 <p>↑操作活動</p>	 <p>↑教え合い</p>	 <p>↑リズムの確認中</p>
			
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・アイパッド操作が難しい児童は、ホワイトボードにてミニリズム譜カードを用いて音楽作りを行わせる。 ・くりかえしを使うことを適宜確認し、活動させる。 ・振り返りの文字入力は時間内に終わらせるよう声掛けし、キーボード入力、音声入力など選択させる。 		

R5 浦添市 ICT エバンジェリスト活用実践事例様式

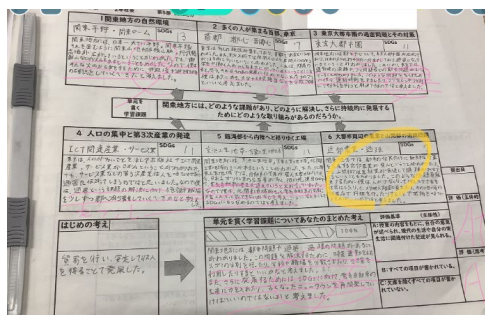
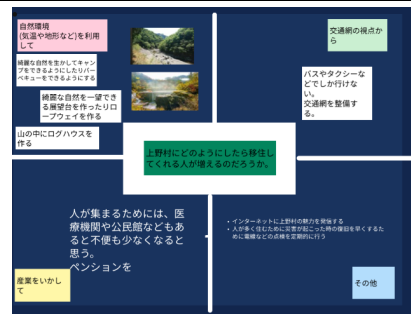
学校名	浦添市立宮城小学校	授業者	比嘉大地
対象学年	6年	教科等	国語
单元名	大切にしたい言葉		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイノート) <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	構成メモを読み合って推敲しよう		
ICT機器の活用場面	・推敲のポイントを確認後、電子黒板で推敲の仕方の説明を行った。 ・前時に提出箱に提出してもらった構成メモを共有し、グループに分かれて推敲を行った。		
指導の流れ	① 本時の課題をつかむ ②めあての確認   ③ 例文をもとに推敲のポイントを確認する ④グループで構成メモを推敲する    ⑤ 助言をもとに自分自身で推敲し、構成メモをまとめる ⑥振り返り   		
指導上の留意点	○推敲するには、ロイロノートの提出箱の共有を活用し、友達の手紙を自分のノートに追加した上で、赤で直し・付け足しをして相手に返してあげる。 ○1人の構成メモをグループ全員で見えて一緒に推敲を行う。その際に、わかりにくい部分は質問し合い、自分の考えを整理させる。 ○友達から助言してもらったところを全て直すのではなく、助言をもとに自分でもう一度読み返し、書き表し方を考えさせるようにする。		

学 校 名	浦添市立沢岬小学校	授 業 者	島袋 未寿
対 象 学 年	2年	教 科 等	音楽
単 元 名	いろいろながっき音をさがそう 『がっきでおはなし』		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	がっきの音の組み合わせを楽しみましょう。		
ICT機器の活用場面	展開：①ロイロノートでリズム譜を操作し、ペアと一緒にリズム作りをする。 ②児童が作成したリズム譜をロイロノートで提出し、電子黒板で全体で共有する。		
指導の流れ	1 導入 ①範唱を聴いて、曲の楽しさをつかんで歌う。[かぼちゃ] ②歌いながら、決めた順番でリズムうちができるように練習する。 ③歌に合わせて演奏する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> 2 展開 ①ロイロノートを活用して、リズム譜カードを操作し、1人1人がきめたリズムを選び、ペアで呼びかけとこたえをつくる。 ★ロイロノートで作業する時の、リズム譜カードの操作について説明する。 ②ペアで作った、リズムをみながら、練習する。(最初は手拍子で練習、その後、楽器で練習) ③ペアで作った、リズムを発表し合う。[音色、リズム、呼びかけとこたえ] ★互いのよさを認め合いなが発表を聴き合う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>気に入ったリズムを2つえらんで 組み合わせでえんそうしましょう。</p>  <p>自分のリズム おきなおりしはな</p> <p>友だちのリズム ぐみ せよ</p>  </div>  </div> 3 まとめ ①友達の作ったリズムを聴いて、感想を伝え合う。 ②次時の活動を話す。		
指導上の留意点	○提出箱を活用し、児童の考えを確認しながら全体共有を行っていく。また、机間指導を通して、活動が止まっている児童に対しては、他の児童の考えなどをロイロノートで共有して、助言を行う。 ○ロイロノートのメモを使って、「ふりかえり」を行うと次時の学習活動に活用できるので、「ふりかえり」もロイロノートで行い提出させる。 ○iPad、教科書、楽器など、児童の使う物が多くなると机上の整理が難しいので、曲によって、使用するときとそうでないときを区別し、机上の環境を整える。		

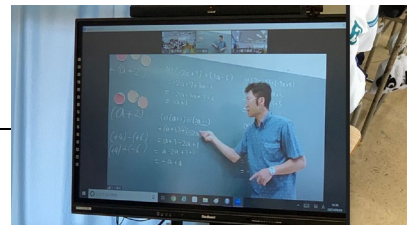
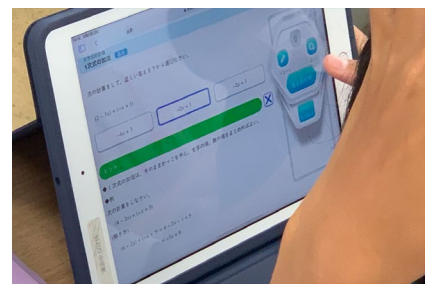
学 校 名	前田小学校	授 業 者	嘉手納 良照
対 象 学 年	5 年	教 科 等	図画工作科
単 元 名	形が動く、絵が動く～コマ撮りムービー 前田映画祭を開催しよう～		
I C T 環 境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	被写体の動き・奥行き・バランスなどの表現の仕方を工夫してコマ撮りムービーを制作する。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	・電子黒板等が無い図工室で、全体でイメージを共有するために、ロイロノートの配信機能を活用 ・制作チェックリストをシンキングツールで作成し、配布 ・コマ撮りムービーの撮影		
指 導 の 流 れ	第1次 1～2時 「学習のポイントを知り、コマ撮りムービーをつくってみよう」 ① モデル作品の鑑賞を通して活動の見通しをもつ。 ② 簡単な題材でコマ撮りムービーを作り、制作のポイントを抑える。 第2次 3時 「動きのワードを集めて、作品の構成を考えよう」 ① フィッシュボーンで動きのワード（ウゴワード）を集める ② 評価基準やA評価の作品の例を見る ③ ワークシートを使って構成を考える   第3次 4～5時 「表現の仕方を工夫してコマ撮りムービーを作ろう」 ① より良い作品になるポイントを考え共有する ② 制作  第4次 6時 「みんなの作品を鑑賞して、良いところを見つけ出そう」 ① 前時で作った、より良い作品になるポイントを再確認し、友達の作品を鑑賞 ② 鑑賞した感想をまとめる		
指 導 上 の 留 意 点	・ロイロノートでスライドショーのめくれる速さを0.1にしてコマ撮りムービーのようにしたが、教師が評価する際に、写真の枚数が多く読み込むのに時間がかかってしまうので、正式なアプリを使った方がよい。		

学校名	前田小学校	授業者	玉野好希枝
対象学年	第二学年	教科等	学級活動(1)
単元名	キラキラまつりをしよう～わいわい わくわく 力を合わせて～		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	学級のみんながわくわくするまつりの計画を立てる。		
ICT機器の活用場面	○ロイロノートのシンキングツールを使って、学級会の事前に個人の考えを整理し、本時の「話し合うこと」で自分の意見につなげたり、出された意見を整理し合意形成につなげていったりする。		
指導の流れ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>事前の活動</p>  <p>ウェビングで考えを広げ</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>ロイロノートに自分の意見とその理由を書く</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>いけんとりゆう わたしは、まとあてがいいとおもいます。なぜなら、あんまりみんながやったことがないし、わくわくしうだからです。</p> <p>くふう わたしは、おんがくをながして、おまつりをもいあがらせてたいです。</p> <p>「まとあて」のくふう</p> <p>お題👤👤👤をだしてみたいです。たとえば、友だちと、🎵なかよくなれるような、あとわくわくのしい👤お題がいいです。</p> </div> </div> <p>本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 提案理由や話し合いのめあての確認 ○ 話し合い <ul style="list-style-type: none"> 話し合うこと① 何をするか ○ 本時のふりかえり <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>タブレットを活用して 提案理由を述べる 電子黒板にうつし 記録の児童が操作</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  <p>ロイロノートを活用した「学級会ノート」と児童の振り返り</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p>話し合いを、しました。できていたけんは、どれも、たのしそうでした。楽しみにしているのは、くじ引きです。なぜなら、1年生のころ、ようちえんのことをぶと、とてもたのしそうにしていたからです。きまったことは、くじ引き&おみくじ、しやてき、金魚すくい&わなげです。はやく、おまつりをしたいです。どんな、おまつりになるかが、楽しみです。たのしく、わくわく、キラキラまつりにしたいです。</p> </div> </div> <p>事後の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 役割分担をして祭りの準備や「キラキラまつり」を行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>タブレットにシナリオを書く 振り返りを書く</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○事前の活動では、児童から出された意見をもとに計画委員会で話し合う。 ○本時の活動では、ロイロノートの学級会ノートをもとに自分の意見を発表したり、シンキングツールを操作したりして思考を整理できるようにする。また、友達が意見を発表している際は、しっかり話を聞くことができるよう適宜声かけをする。 ○事後の活動では、計画的に準備ができるよう役割ごとに共有ノートを作る。 		

学校名	浦添学校	授業者	平安山 大賀
対象学年	2 学年	教科等	社会
単元名	大都周辺の農業と山間部の過疎問題		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	東京大都市圏周辺の農業地域や山間部には、どのような課題が見られるのだろうか。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> 資料を提示。(ペア活動で資料から読み取る) グループでシンキングツール(十字チャート)を活用して上野村の過疎問題に対する解決策を考察する場面で活用する。 		
指導の流れ	<p>1、今までの関東のイメージを確認。 農業をしている写真などを提示する。</p> <p>2、関東でも山などの自然があり、また、農業が行われていることを確認し、課題を予想させる</p> <p>3、めあての提示</p> <p>4、人口が減少している資料を提示。 (ペア活動で資料から読み取る)</p> <p>5、交流学習 「今日の学び」 「若い世代の人口流出がと少子化・高齢化などの課題が見られる茨城の上野村を救おう！」</p> <p>6、全体交流</p> <p>7、振り返り</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> グループでシンキングツール(十字チャート)を活用して上野村の過疎問題に対する解決策を考察させるために自分の考えをもたせるようにする。 グループで考察した根拠を基に発表させる際は、根拠となる理由も発表させる。 		



学 校 名	浦添市立浦添中学校	授 業 者	岸本 恵一
対 象 学 年	1 学 年	教 科 等	数 学
単 元 名	文字と式		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルコンテンツ (ZOOM) <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	1 次式の加法と減法はどのように計算するのだろうか。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	自学自習の際に問題解決のために、デジタル教科書を見たり、ロイロノートの資料を見たり、自分で検索して問題解決を行う。		
指 導 の 流 れ	<p>1 導入 10分</p> <p>(1) 問題把握 リンゴ、ミカンのイラストを使ってイラストで加法、減法の確認をする。</p> <p>(2) 課題提示 リンゴやミカンのイラストを文字に置き換えた場合、どのように計算をするだろうか？</p> <p>2 展開 30分</p> <p>(1) 自学自習 デジタル教科書や教科書、e ライブラリーアドバンス、ロイロノートを使って内容理解、問題解決を自分で行う。 (教師は、支援が必要な生徒に声をかけたり指導したりする。また、2 組にも行き生徒の様子を見る。必要な場合は支援を行う。)</p> <p>3 終末 10分</p> <p>(1) 確認問題、振り返り プリントを用いて今日の学習内容の定着を問題を通して確認する。 また、自学自習の振り返りを行う</p>		
指 導 上 の 留 意 点	<p>自学自習の際に、問題を解かせるだけでなくノートをまとめることも意識させる。なぜ、このように計算ができたのかなどを考えさせ計算のポイント等をノートに書くように促す。また、全体を見ながら、個に支援をしたり、生徒同士をつなげるような声かけを行う。</p>		

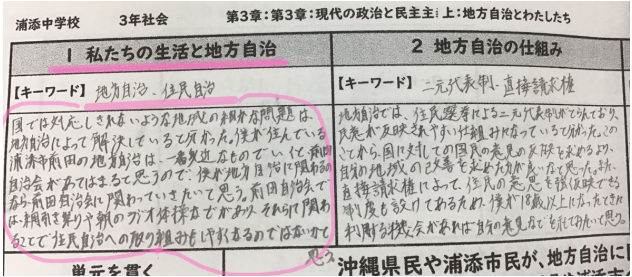


学 校 名	浦添中学校	授 業 者	友利 亘
対 象 学 年	3 学 年	教 科 等	社会
単 元 名	私たちの生活と地方自治		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	自宅から学校までの通学路で危険と感じる場所を行政に伝えよう		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・課題資料を電子黒板で提示。 ・自分の自治体で危険と感じる場所を行政（浦添市）に伝えよう。 		
指導の流れ	<p>1、地方自治では地域住民自身によって運営されていることを確認する。</p> <p>2、身近な地域で危険と感じるのは地域住民であることを確認し、課題を予想させる。</p> <p>3、めあての提示</p> <p>4、Ipad を活用し危険な場所を検索する。</p> <p>5、交流学习 各生徒が作成した場所を学級全体で確認する。</p> <p>6、振り返り</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で Ipad を活用して課題に対する解決策を考察させるために自分の考えをもたせるようにする。 ・紹介する際には危険を感じる根拠を基に発表させる。 		

3年社会 課題

学校までの通学路で危険な場所はどこがあるか考えてみよう！

*①写真か地図付きで紹介する。
②自治体にどうして欲しいのか説明する。



学校名	浦添市立仲西中学校	授業者	仲村 幸一
対象学年	2学年	教科等	道徳
単元名	ハイタッチがくれたもの		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書		
テーマ	よりよい学校生活にするには？		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> 導入→学級できめたことに対して、実行できているかロイロ内で無記名で提出。 展開→パフォーマンス課題を出し、ロイロのカードに自分の意見を記入。 <p>※その際に提出ボックスは共有可能にしておく。</p>		
指導の流れ	<p style="text-align: center;">プロット図にて授業計画案作成</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%; background-color: #fce4ec; padding: 5px;"> <p>教材名 「ハイタッチがくれたもの」</p> <p>授業者 「仲村幸一」</p> <p>場所 2年8組</p> </div> <div style="width: 80%; background-color: #212121; color: white; padding: 10px;"> <div style="background-color: #ffc107; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 展開② 全体 </div> <ul style="list-style-type: none"> 裕司が、もう一度ハイタッチを提案しようと決心したのは、どんな思いからか？ <p>→板書&ノート</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <div style="background-color: #ffc107; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 展開① 全体 </div> <ul style="list-style-type: none"> 学校をよくしようという提案に生徒会の皆んなが賛成してくれなかったのは？ <p>→板書&ノート</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <div style="background-color: #28a745; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 導入 個人・全体 </div> <ol style="list-style-type: none"> 学級で決めたことの確認 →板書シンキングツール できてるorできてない →ロイロで無記名で提出 色の紙に理由も書く →ロイロ・板書 </div> <div style="width: 45%;"> <div style="background-color: #17a2b8; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 理由 </div> <p>意思表示 青 できてる 赤 できてない</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="background-color: #ffc107; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 展開③ パフォーマンス課題 個人→学びあい→共有 </div> <p>あなたが浩一の立場の時、どのような事を意識して集団に関わりませんか？</p> <p>→ロイロ (パフォーマンス) →個人活動→意見交換→シェア</p> <div style="background-color: #ffc107; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 提出BOXを作成し、共有可能にしておく </div> <div style="background-color: #ffc107; text-align: center; padding: 5px;"> 展開③ 個人→学びあい→共有 </div> <p>所属している集団をより良くするために一人一人が、大切にすべき考え方や行動は、どんなことだろうか？</p> <p>→個人活動→提出→共有</p> </div> </div> </div>		

テーマ
よりよい学校生活にするには？

ふりかえり
テーマに関して

- ①わかったこと
- ②今までの自分は
- ③〇〇さんの考えから
- ④これからどう生きていく？

①導入での活用

理由

読書冊数40冊超えるために、週に1回以上図書館に行ったり、賞状70枚達成のために、そろばんの大会や漢検・数検を積極的に受けているから。

2023年9月26日 14:05

理由

挨拶を積極的にしてないし、できていてもシールを貼れていないから。



こういち
浩一

②パフォーマンス課題

考えよう！

所属している集団をより良くするために一人一人が、大切にすべき考え方や行動は、どんなことだろうか？

自分の考え

→仲間や、友人とたくさん話をしたり、好きなものとかを共有してって仲良くしていくことが大切だと思う。よりよくするっていうのは過ごしやすいということだと思うから、たくさんのお話があるってことはギスギスしたり気まずい訳でもないからより良いと言えると思うから。

③個人の考えを記入

考えよう！

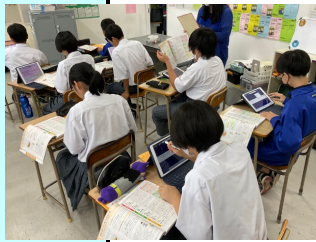
あなたが浩一だとして、ハイタッチの計画を成功させるために、どのように学校・学級・生徒会に関わりますか？


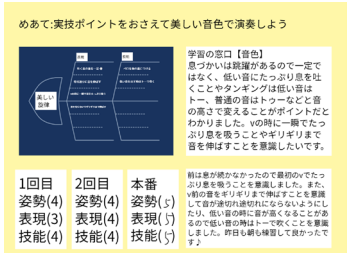


私は、先日行われたバレーボールの練習試合で、必死のプレーでボールを繋いで、得点が決まったときに仲間としたハイタッチは、私たちに元気をくれたので、ハイタッチをやることにより一体感ができると思うので、ハイタッチをする取り組みをした方がいいと思います。



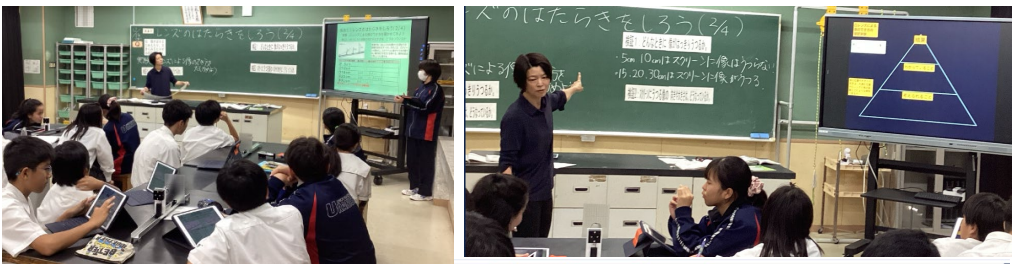
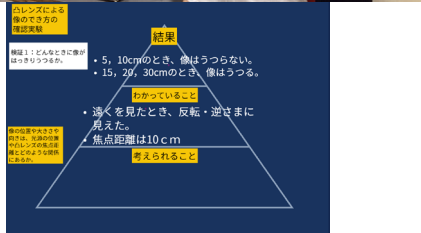
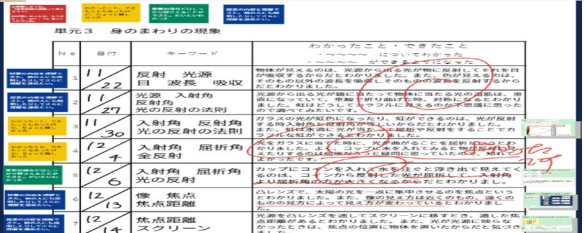
学校名	浦添市立仲西中学校	授業者	仲村 幸一
対象学年	2 学年	教科等	社会（地理）
単元名	中国・四国地方の地域おこし③		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（『Padlet』）		
本時のめあて	プレゼン発表を通して、地域おこしの際に大切な事は何かを考えよう		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート若しくは keynote で作成したプレゼンテーションをグループごとに発表していく。 ・発表を終えるごとに、グループで個別に共有ノート内で評価する。 		
指導の流れ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>(導入) 8分</p> <p>1、これまでのプレゼン作成の流れを確認する。(電子黒板&ロイロノート使用)</p> <p>2、めあての提示 「プレゼン発表を通して、地域おこしの際に大切な事は何かを考えよう」</p> <p>(展開) 37分</p> <p>1、本時の流れを確認（7分） →グループに分かれる。発表は、グループ単位で共有ノートを活用して行う。</p> <p>2、パフォーマンス課題の評価の確認とプレゼン評価の仕方を確認。（5分）</p> <p>3、各グループに分かれて、共有ノート内のプレゼンをもとに発表を行う。（20分） →発表時間は1人3分以内。評価&コメントは2分。5名×4名の20分。</p> <p>4、教科担任で指名した代表者1名発表（5分） (ふりかえり)</p> <p>1、共有ノート内にプレゼン資料が添付されているか、評価は全員分行われているか確認する。（2分）</p> <p>2、本時の学習のふりかえりをふりかえりシートに行う。（3分）</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">プレゼン作成までの手順</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">5グループ</p>  </div> <div style="margin-top: 10px;">  </div>		
活用上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・共有ノート内でグループがわかりやすいように同じ配置で作成しておく。 ・発表時間を教科担任が管理し、時間内で発表と評価をさせる。 		

学 校 名	浦添市立 神森中学校	授 業 者	謝花 廉
対 象 学 年	2年	教 科 等	国語
単 元 名	魅力的な提案をしよう—資料を示してプレゼンテーションをする		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート、Keynote) <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	「相手に伝わる」を目指して魅力的なプレゼンテーションをしよう		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	・発表 (グループ、全体) iPad ・画面表示 (全体発表時) Apple TV		
指 導 の 流 れ	<p>1 前時までに作成したプレゼンテーション資料の確認。 発表練習。 ※各自、自分が作成しやすいツールを使って資料を作成 (ロイロノート、Keynote)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>K-POPの魅力</p> <p>学習用途以外でもタブレットを活用したほうが良い理由</p> </div> </div> <p>2 グループ発表</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>3 全体発表 (各グループの代表生徒)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>4 プレゼンテーション資料を作成、発表しての振り返り</p>		
指 導 上 の 留 意 点	・自分の思いや考えを他者に伝える際に、何が必要なのかを確認し、文字以外の視覚的資料を用いることを確認。 ・実際にグループ、全体でプレゼンテーションを行う際の、話す速さ、間の取り方、声の大きさ (強弱をつける) など、事前に確認を行い、「効果的な伝え方」を確認。		

学 校 名	神森中学校	授 業 者	崎原 りこ
対 象 学 年	1 学 年	教 科 等	家庭科
単 元 名	バランスの良い献立作り		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	栄養バランスの良い献立を立てるために気をつけることはなんだろう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習 iPad ・ロイロノートの画面表示 AppleTV ・参考資料の配付・グループ発表の資料作成 ロイロノート ・ジグソー班での資料の共有 共有ノート (ロイロノート) 		
指 導 の 流 れ	<p>1 導入 (5分) ・前時の学習を振り返る。 ・学習課題の提示 (バランスの良い献立にするにはどうしたらいいか。)</p> <p>→めあての設定「栄養バランスの良い献立を立てるために気をつけることはなんだろう。」</p> <p>2 展開 (35分) エキスパート活動 A:朝食について B:昼食について(2人) C:夕食について ・エキスパート班に分かれ、班ごとの資料を読む。</p> <p>① 【個人】まずは自分で読み、大切だと思う部分などに線を引き、考えをまとめる。 ② 【友達との意見交換】考えを、共有する。 ③ ジグソー活動での説明資料を共有ノートで作成する。(代表1名) *自分の担当した資料の専門家になり、 他の班員に説明できるようにしておくことが大事!</p> <p>ジグソー活動 ・はじめの班に戻り、エキスパート活動で学んできたことを発表しあう。</p> <p>クロストーク ・ジグソー活動で深まった考えを全体で共有 (1・2グループ程度)し、 練り合う。</p> <p>3 終末 (10分) ・本時のまとめ まとめ 「食事の役割に合わせて食品を選択し、 1群～6群の食品を組み合わせ、 食品群別摂取量の目安を満たすことに気をつける。」</p> <p> ・振り返り 振り返りの視点:自分の立てた献立から改善点を見つけ、 生活に生かしていきたいこと</p>		
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadを使用して調べるだけではなく、これまでに学習してきた内容も取り入れさせるために、教科書も使用させながら情報収集を行わせること。 ・事前に共有ノートの特徴を確認し、理解させたうえで授業に取り入れる。 		



学 校 名	浦添市立浦西中学校	授 業 者	美里 真帆
対 象 学 年	中学 2 年	教 科 等	音楽
単 元 名	器楽 《虹の彼方に》		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (自作の実技レッスン動画)		
本時のめあて	実技ポイントをおさえて美しい音色で演奏しよう。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏動画のタブレット撮影と、ロイロノート提出 ・デジタル教科書のTV画面表示、Apple TVを用いたロイロノートの画面表示 ・zoom録画で作成したレッスン動画のロイロノート共有 ・ロイロノートの画面配信 		
指導の流れ	<p>(事前課題) リコーダー演奏の様子を動画で撮影、ロイロノートに提出 (手だてを要する生徒の把握)</p> <p>経 験 《校歌》発声練習 《虹の彼方へ》アルトリコーダー演奏 …教師：デジタル教科書をテレビに提示 生徒：教科書かiPad上楽譜を使用</p> <p>分 析演奏ポイント (奏法) の書き出しと共有 …ロイロノートのシンキングツールを活用 ペアテストⅠ …生徒同士の採点をロイロノートに記録 旋律の特徴を分析 跳躍を知覚しタンギングのシラブル再確認</p> <p>再経験個人練習 …授業者作の実技レッスン動画を視聴しながら練習 (個人イヤホン使用) [動画の内容はレベル別になっており、 ①基礎②タンギング③伴奏に合わせた跳躍等自己調整できる]</p> <p>評 価ペアテストⅡ …生徒同士の採点をロイロノートに記録 振り返り記入 …ロイロノートのテキスト提出、画面共有</p>    		
指導上の留意点	ICT を活用した「個別最適な学び」を確立しつつ、「協動的な学び」とのバランスをとること。レベルに合わせて自己調整ができる個人練習と、互いの演奏を高め合うペアテストを組み込む。教科上の特質として、ICT を活用しつつ生の音 (音色) を味わうことを核に授業を行う。		

学 校 名	浦西中学校	授 業 者	川上真紀子
対 象 学 年	1 年	教 科 等	理科
単 元 名	レンズのはたらき		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	レンズのはたらきをしよう(2/4)		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを使用して事前課題や前時のふりかえりの確認を行う。実験では写真や動画の活用を行う。 ・次時に考察を行うため、シンキングツールを用いて実験のまとめを行う。 		
指 導 の 流 れ	<p>1 導入 ①前時の復習をロイロノートのテストで確認する。(10分) ②事前課題の確認 → ③生徒の前時のわかったことの記録を提示し、問いにつなげる。</p> <p>めあて:レンズのはたらきをしよう(2/4) Q:像が逆さまにみえたり、大きくみえたりするのは、なぜか?</p> <p>2 展開 凸レンズによる像のでき方を確かめてみよう(凸レンズの焦点距離は10cm) (25分) 検証1:どんなときに像がはっきりうつるか。 検証2:スクリーンにうつる像の向きや大きさは、どうなっているか。</p> <p>3 まとめ ①実験結果を確認する(15分) 検証1:どんなときに像がはっきりうつるか。 検証2:スクリーンにうつる像の向きや大きさは、どうなっているか。 ②次時の確認(事前課題) 光源が凸レンズに近いとき、スクリーンに像はできなかった。なんでかな?</p>		
	    		
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動はタブレットのみの活動とした。 ・浦西中授業スタイルとして、授業導入に事前課題の確認と、次時につながる事前課題(宿題)に、タブレットを用いた調べ学習や課題としている。 ・実験の結果は写真や動画に収めることと、実験結果の共有をAirDropで行った。 		

学 校 名	浦添市立浦西中学校	授 業 者	野原 大輝
対 象 学 年	3 学年	教 科 等	社会科（公民）
単 元 名	ちがいのちがいの追究		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad（ロイロノート） <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
本時のめあて	憲法が保障する権利を守るために、わたしたちはどのように社会に関わるべきか。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	ロイロノートの課題として、事前に3つの「ちがいのちがい」をあって良い違い（区別）、あってはならない違い（差別）に分類し、そのように分けた理由を考えさせる。展開では分類したカードをグループ内で発表後、意見交換をしながらグループの考えをまとめる。また共有ノートを使いグループで再分類し、あつてよい違い（区別）とあってはならない違い（差別）の境目は何かグループ活動を行う。一連の活動を通し、個人で憲法が保障する権利を守るためどのように社会に関わるべきかロイロノートにまとめ発表する。		
指 導 の 流 れ	<p>0. 前時の活動（宿題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 3つの「ちがいのちがい」分類し提出BOXに送信させる。 <p>1. 導入（前時の確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿題の3つのカードをロイロ（個人シート）で確認。 <p>2. めあての記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ロイロノート（個人シート）にめあてを記入。 <p>3. 展開1 個人の意見とグループの考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ロイロの宿題を共有ノートに入れておく。 個人の意見について共有ノートを見ながら発表。 グループとしての考えを記入。（シンキングツール） <p>4. 展開2 「区別」と「差別」の判断を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで相談し、シンキングツールに結論を出す。 <p>5. 展開3 グループ発表</p> <ul style="list-style-type: none"> AppleTVを使って電子黒板につなぎ、グループ全体のシートを見られるようにする。 グループへの質問タイムを設ける。 <p>6. まとめ、ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめはロイロの個人シートに記入させる。 振り返りの課題を考え、振り返りシートに記入させる。 <div data-bbox="1066 913 1361 1120" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1066 1133 1361 1339" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1098 1346 1369 1592" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1110 1608 1390 1792" data-label="Image"> </div>		
指 導 上 の 留 意 点	<p>事前の課題を考える活動を前時に設けて提出BOXに提出させる。今回の授業は共有ノートを活用することが多いため、提出した個人の課題を共有ノートに整理しておく必要がある。グループは各学級で決められた班で指定して活動する。</p> <p>ロイロノートを使用するが話し合いを重点に置くため、共有ノートに入力する生徒はグループで一人、個人で考える場面ではグループを解体し、個人の時間を設けて入力させる。</p>		